

令和2年度 市の財政事情

「レゾナント・コロナ社会」の構築に向けて「ITを活用した心が通う」
「便利で心豊かな田舎暮らし」を実現させる施策の推進

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症という、かつて経験したことのない緊急事態への対応と、感染症に打ち勝ち、乗り越える持続可能な社会経済システム「レゾナント・コロナ社会」の構築に向けて、「ITを活用した心が通う」
「便利で心豊かな田舎暮らし」施策を推進するため、移住・定住の促進、関係人口の創出、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりに取り組みました。

※詳しい内容は、市ホームページ（左コーナー）からアクセス可でも公開しています。
（財政課 ☎66・1046）



主な使い道 令和2年度の主な事業

安心のまちづくり



整備中の大手ポンプ場
雨水処理事業【2億9,817万円】※下水道事業会計



排水ポンプ車購入
浸水・治水対策の推進【1億9,242万円】

- 障害者共同生活援助給付費【1億6,252万円】
- 地域密着型サービス拠点施設整備事業費補助金【4,382万円】
- 漁港海岸保全対策事業【1億1,197万円】

心豊かに暮らせるまちづくり



GIGA スクール構想の実現に向けた1人1台端末の整備
未来を拓く学びの環境整備事業【8億3,676万円】



シンガポールから移住されたご夫婦
移住定住の促進【4,067万円】

- 舞鶴版 Society5.0 for SDGs 推進事業【4,099万円】
- 質の高い乳幼児教育の推進【3,689万円】
- 次期最終処分場整備事業【4億1,437万円】
- 清掃事務所(第1工場)長寿命化工事【5億1,557万円】
- ウズベキスタンホストタウン推進等事業【468万円】

新型コロナウイルス感染症対策



集団接種会場の準備と模擬訓練の様子
ワクチン接種体制確保事業【3,190万円】

- 特別定額給付金給付事業【81億7,647万円】
- 休業要請対象事業者支援給付金【6,744万円】
- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業【1億1,479万円】
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業【1億853万円】
- 学校施設の感染症防止対策(小・中学校)【8,531万円】
- 児童福祉施設等の感染症防止対策【8,216万円】
- 未来を拓く学びの環境整備事業【4億5,229万円】
- 「まいづる地域商品券」発行事業【5,299万円】
- まいづる冬グルメキャンペーン事業【4,514万円】
- 舞鶴マイクロツーリズム推進事業【2,065万円】
- 市役所機能強化事業【6,689万円】

※1 写真は各事業のうち、代表的なものを掲載しています。
※2 「新型コロナウイルス感染症対策」の「未来を拓く学びの環境整備事業」は「心豊かに暮らせるまちづくり」の同事業の内数です。

活力あるまちづくり

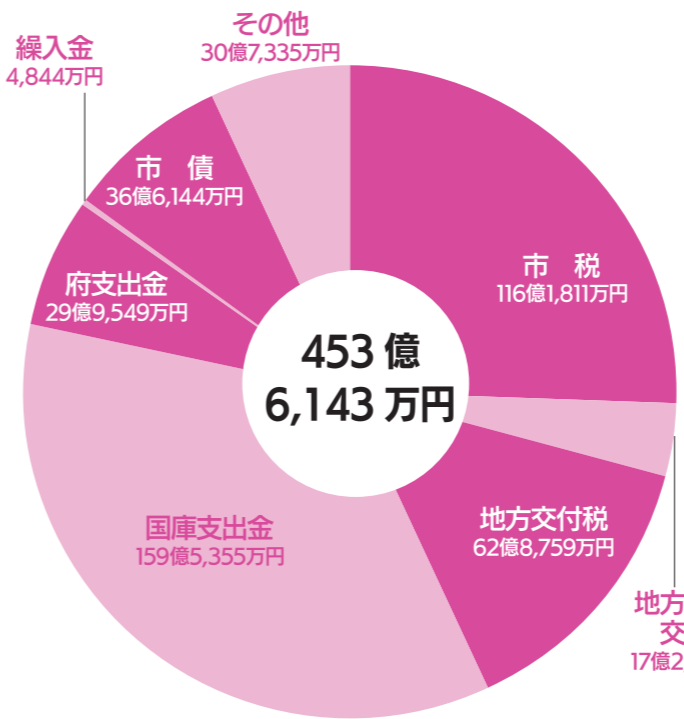


多世代交流施設まなびあむ整備
地方創生拠点整備事業【8億8,437万円】



成生漁港の物揚場整備
漁港施設等の整備【9,773万円】

- 万願寺甘とう振興事業【818万円】
- 茶業振興対策事業【315万円】
- 企業誘致実現プロジェクト事業【1億5,666万円】
- 主要幹線等市道整備の推進【7億2,776万円】



歳入 市に入ったお金

歳入総額は453億6,143万円で、前年度に比べ110億965万円増加しました。固定資産税をはじめとする市税が減少しましたが、地方消費税交付金や地方交付税の増加に加え、新型コロナウイルス感染症に対応するための国庫支出金の増加などにより、総額が前年度を大きく上回りました。

歳出 市が使ったお金

歳出総額は447億813万円で、前年度に比べ107億481万円増加しました。総務費で、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として実施した特別定額給付金給付事業が皆増となり、前年度から90億5,803万円増加しました。このほか、教育費で、小・中学校の未来を拓く学びの環境整備事業(オンライン学習環境整備)が大幅な増額となり、前年度から9億6,975万円増加しました。

